

# 平成 23 年度第 2 回 美浜区区民対話会

## 議事録

---

日時 平成 23 年 12 月 16 日 (金)  
午後 6 時 ~ 8 時  
場所 美浜区役所 4 階講堂

## ○地域づくり支援室長

大変お待たせいたしました。皆様におかれましては、大変お忙しいところご出席いただきまして、ありがとうございます。何名かまだ出席されていない理事の方がいらっしゃいますけれども、定刻となりましたので、ただいまから「平成23年度第2回美浜区区民対話会」を開会いたします。

本日の司会を務めさせていただきます地域振興課地域づくり支援室室長の立石と申します。どうぞよろしく願いいたします。

本日の参加者は、美浜区町内自治会連絡協議会の18名でございます。本日は7名の方が傍聴にお越しいただいておりますので、皆様にご報告いたします。

それでは、はじめに配布資料の確認をさせていただきます。

今回お配りした資料は、次第、座席表、美浜区基本計画<概要>、美浜区基本計画冊子、それと事前アンケート集計結果の以上5点でございます。なお、美浜区基本計画<概要>及び美浜区基本計画冊子につきましては、事前に配布をさせていただいております。配布資料につきまして、何か足りない資料等はないでしょうか。ご確認をお願いしたいと思います。

また、配布資料とは別に、参考資料といたしまして、「魅力ある美浜区づくり活動支援事業に関する資料」です。それと「アンケート」を机の上にお配りしてございます。

「アンケート」につきましては今後の参考とさせていただきますので、対話会終了後に提出いただきますようお願いいたします。

続きまして、本対話会の進め方につきまして説明をさせていただきます。まず、次第をご覧ください。本日の対話会は、「美浜区基本計画～みんなのちからを集結したまちづくり～」をテーマとしてございます。

はじめに、美浜区基本計画につきまして、小池美浜区長から40分程度、プロジェクターを使いまして説明をさせていただきます。その後、10分程度の休憩を挟みまして、区長を進行役として、「美浜区基本計画～みんなのちからを集結したまちづくり～」について、1時間程度の意見交換を行います。

なお、本対話会は、ことしの6月に策定しました美浜区基本計画について皆様に説明をさせていただくとともに、基本計画に掲げた美浜区の将来像実現に向けて、区民の皆様を中心とした多様な主体によるまちづくりについて意見交換をしていただき、今後の美浜区の「みんなのちからを集結したまちづくり」に資することを目的としております。「みんなのちからを集結したまちづくり」に資する意見交換をお願いしたいと思います。個別または具体的な事業に対するご要望などは、ご遠慮いただきますようお願い申し上げます。

なお、本日の会議は議事録作成のための録音及び記録のための撮影をさせていただ

きますので、ご了承いただきたいと思ひます。議事録の作成に当たっては、対話会の会長であります美浜区長に一任いただきたくお願い申し上げます。市及び区政運営の透明性を確保するため公開の会議とされておりますので、今回の議事内容につきましては、区のホームページ等で公開を予定しておりますので、ご了承ください。

区民対話会の進め方につきましては以上でございます。よろしいでしょうか。

それでは、まず初めに、美浜区長の小池からごあいさつ申し上げます。よろしくお願ひいたします。

## ○美浜区長

皆様、改めましてこんばんは。本日は、師走でもあり、午後 6 時からという時間に会議を設定させていただきまして、皆様方、大変ご多忙の中、平成 23 年度第 2 回美浜区区民対話会にご出席をいただき、誠にありがとうございます。また、皆様方には、日頃より市政並びに区行政の推進に当たり多大なるご支援、ご協力を賜っておりますことを、この場をおかりしまして厚く御礼を申し上げます。

区民対話会は、区における広報・広聴事業の一環として、昨年度から実施しております。昨年度は、第 1 回は「防犯」をテーマとして、また第 2 回では、「健康づくり・仲間づくり」をテーマとして行い、さらに中学生との座談会も開催したところでございます。

今年度は 8 月に中学生との座談会、そして 10 月末に若葉区と合同で、「若葉区と美浜区の『農』を通じた交流」をテーマとして、第 1 回区民対話会を開催いたしました。地区連会長の皆様方には、ご多忙の中ご参加をいただきましたことを心より感謝申し上げます。

本日は第 2 回区民対話会として、「美浜区基本計画～みんなのちからを集結したまちづくり～」をテーマに開催させていただきました。

本市では、本年 6 月に開催された千葉市議会において、これからのまちづくりの方向性を示す「千葉市新基本計画」を可決いただき、策定をしたところでございます。この「千葉市新基本計画」は「美浜区基本計画」を含むものでございまして、「美浜区基本計画」につきましては、公募委員を含む区民検討会の皆様に素案を作成いただき、10 年、20 年後の美浜区の将来像や、施策展開の方向性を定めたものでございます。

区基本計画では、区の将来像の実現に向けて、区の地域課題や特性を踏まえて、区民のニーズに合った区民主体のまちづくりを進めるものとしてございます。そのために、区民の皆様お一人おひとりのもとより、団体、企業、大学など、さまざまな主体が連携・協力してまちづくりを進めてこそ、区民主体のまちづくりと言えるものと考えております。

本日は、美浜区町内自治会地区連絡協議会理事の皆様には美浜区基本計画の概要につ

いて説明させていただくとともに、これからのまちづくりを地域の皆様がどのように連携・協力して進めていくのか、また、区役所がどうかかわっていけるのかなどについて、皆様のお力とお知恵をおかりいたしたく、意見交換をお願いしたいと存じます。

本日は、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

## ○地域づくり支援室長

(職員紹介)

これからは、美浜区長の小池が議事を進行してまいります。よろしくお願ひいたします。

## ○美浜区長

それでは、「美浜区基本計画」について、私から説明をさせていただきます。パソコンの用意をいたしますので、今しばらくお待ちください。

(パソコン、プロジェクター等の準備)

それでは、お手元に配布させていただいております資料「美浜区基本計画」の冊子とあわせて、プロジェクターの画面をご覧くださいながら「美浜区基本計画」について説明をさせていただきます。

なお、事前に配布しております概要版、「美浜区基本計画〈概要〉」につきましては、後ほど参考としてご覧くださいませようお願ひいたします。それでは、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

まず初めに、「美浜区基本計画」策定までの経緯について少し説明をさせていただきます。先ほど、あいさつの中でも触れさせていただきましたが、美浜区では、区の特性を活かした区民主体のまちづくりに向けて、区民検討会や市民意見募集などを経て、平成 23 年 6 月に「美浜区基本計画」を策定いたしました。これは「千葉市新基本計画」とあわせて市議会の議決をいただき、策定をしたものでございます。

参考までに、昨年開催しました区民検討会の開催状況ですが、画面にありますとおり、「美浜区基本計画」の素案を作成いただくことを目的として、公募、地域団体推薦等の 16 名の委員の皆様、平成 22 年 6 月から 9 月までの間、4 回の会議をお願いいたしました。また、策定までの間に行いました市民意見募集及びパブリックコメントの期間につきましては、画面にありますとおり、市民意見募集につきましては平成 22 年 10 月 15 日から 28 日までの間、また、パブリックコメントにつきましては、平成 23 年 4 月 1 日から 5 月 2 日までの間、「千葉市新基本計画」とあわせて市の政策企画課のほうで実施をしたところでございます。

このような経緯で策定しました「美浜区基本計画」は、10 年後の区の将来像に向けたまちづくりの方向性を定めたもので、区民の皆さんや地域の団体、大学、企業、区

役所など、「みんなのちからを集結したまちづくり」を進めるものでございます。

なお、「美浜区基本計画」は「千葉市新基本計画」の一部として策定したもので、市の基本計画と区の基本計画の関係につきましては、お手元の「美浜区基本計画」冊子の 16 ページに記載してございます。恐れ入りますが、「美浜区基本計画」冊子の 16 ページをお開きいただきたいと思っております。

こちらに、1 区基本計画の策定の目的、2 区計画の位置付け、3 計画期間などを掲載してございます。プロジェクターの画面のほうへ改めて図にしてございますので、画面のほうをご覧ください。市の基本構想、基本計画、実施計画がピラミッドの 3 層構造となっており、真ん中の基本計画の一部として区基本計画が位置付けられております。

基本計画の計画期間は、平成 24 年度から平成 33 年度の 10 年間としております。また、基本計画実現のための具体的な取組みとして策定をします実施計画の計画期間は、時代の変化等にフレキシブルに対応可能な 3 年間としており、このたび策定をした基本計画に基づく初の第 1 次実施計画の計画期間は、平成 24 年度から 26 年度の取組みとなります。

なお、実施計画につきましては、区にかかわる事業も含めて千葉市全体の事業として策定するため、区における実施計画は策定いたしません。

また、第 1 次実施計画は、初年度である平成 24 年度の予算にも関係するものでございますが、現在、市で策定作業中でございます。

それでは、美浜区基本計画の内容についての説明に入りたいと思っております。お手元の「美浜区基本計画」冊子の表紙 1 ページをご覧ください。

まず、計画全体の構成についての説明となります。目次にありますとおり、区の概況、現状と課題、区の将来像、施策展開の方向性という 4 章の構成になっています。この構成は、6 区共通でございます。

「美浜区基本計画」というタイトルの下には、美浜区が目指すべき区の将来像を記載してございます。美浜区の将来像は、「美しい浜辺と様々な交流のあるみんなで創るにぎわいと活力のあふれるまち 美浜区 ～住んでみたいまち、ずっと住みたいまちを目指して～」でございます。

まず、第 1 章の「区の概況」において区の地理的特性を把握し、第 2 章「現状と課題」において、現在区が抱える状況や将来の課題などについて整理をしており、その現状と課題の整理から、第 3 章として、目指すべき「区の将来像」を定めております。そして、その目指すべき区の将来像の実現のための「施策展開の方向性」を第 4 章として定め、今後区役所と区民の皆様など、様々な主体が協力して取り組むべき内容を記載してあります。

それでは、各章の内容を順次説明してまいります。

計画冊子の 2 ページ、3 ページをお開きください。「第 1 章 区の概況」及び 3 ページの「区の概況図」を説明いたします。なお、同様の内容をプロジェクターで映してございますので、そちらをご覧くださいながらお聞きいただきたいと思います。

美浜区の概況といたしまして、本区は千葉市の西側に位置し、区の全域が埋め立てにより造成、計画的に整備された地域です。面積が 21.16 km<sup>2</sup> と、6 区の中で最も小さい区です。

区の南西側は東京湾に面し、海浜部にはいなげの浜、検見川の浜、幕張の浜という国内有数の人工海浜が存在します。区の中央部には、区役所などの行政施設のほか、海浜ニュータウンなどの大規模な住宅地が整備されています。区の南東部には、食品コンビナートや自動車関連の事業所などが集積する新港の工業地帯や、国道 14 号沿いの幸町地区には、多くの中高層住宅が建ち並びます。

また、区内には幕張新都心が整備され、幕張メッセや国際的な企業や大学、研究機関などが集積しているほか、住宅地区である幕張ベイタウンや、プロ野球千葉ロッテマリーンズの本拠地である QVC マリンフィールドがあります。区内の交通網として、海岸線とほぼ平行に国道 14 号と JR 京葉線が通っています。

お手元の冊子 2 ページの下に、参考までに人口・世帯数の見通しの表がありますが、計画期間の最終年度の平成 33 年度までには、人口が減少に向かうとの見通しが出ております。これは、今後急速な少子高齢化が進むことによるものであり、特に美浜区の特徴として、埋立地に整備されたまちへ同年代の方々が一斉に入居されていることから、高齢化率が急速に進むことが数字に表れております。

また、3 ページには、参考としまして区の概況図を掲載しておりますが、先ほど説明しました区の地理的特徴がわかるほか、基本計画における施策展開に関係するような区内の主要な施設や主要交通機関を掲載してございます。

次に、4 ページから 6 ページには、先ほどの区の地理的特徴である区の概況を踏まえ、区民検討会の委員の皆様から様々なご意見をいただき、美浜区の現状と課題を 4 つに分けて整理をしております。

4 ページ、「第 2 章 現状と課題」をご覧ください。1 つといたしまして、「魅力ある資源の有効活用」でございます。

#### (1) 資源を活かした魅力づくり

本区の海浜部には、稲毛海浜公園や幕張海浜公園といった公園のほか、いなげの浜・検見川の浜・幕張の浜という国内有数の人工海浜が広がっており、魅力的な海辺の景観を有しています。また、幕張新都心には、大型コンベンション施設である幕張メッセ、千葉ロッテマリーンズの本拠地である QVC マリンフィールドが立地しているほか、新港地区には屋内アイススケート場のアクアリンクちば、区役所周辺には区民の身近な文化活動の場となる美浜文化ホールが整備されており、スポーツ、音楽などの様々

なイベントが開催されています。このほか、稲毛海浜公園内にある花の美術館では、四季折々の花が楽しめます。

このような本区の貴重な財産である海辺や既存施設などについて、さらなる有効活用に努めるとともに、さらなるにぎわいを創出するためにも、区民をはじめとする多くの人にその魅力を周知する必要があります。

また、貴重な財産である海辺を未来へと継承していくためにも、海辺などの環境保全が求められています。

このほか、千葉ロッテマリーンズをはじめとするプロスポーツチームと区民がより一層交流を深め、プロスポーツのホームタウンとして、まちぐるみで盛り上げることも望まれます。

## (2) 企業や大学との連携によるまちづくりの展開

幕張新都心の業務研究地区や新港工業地帯を中心に、区内には多くの企業が立地しています。

また、幕張新都心の文教地区には、大学などの高等教育機関、研究・研修期間、インターナショナルスクールが立地していることなどから、今後は地域と企業や大学などが連携をより深めていくことが望まれます。

なお、区民検討会において、区の現状を整理するに当たり、美浜区の魅力ある資源について委員の皆様から挙げていただいたキーワードを画面に映してございます。たくさんの方の魅力ある資源を挙げていただきましたけれども、基本計画素案作成に結びついたキーワードを紹介させていただきます。

- ・稲毛海浜公園・幕張海浜公園
- ・人工海浜（いなげの浜・検見川の浜・幕張の浜）
- ・幕張新都心（幕張メッセ・QVC マリンフィールド等）
- ・花の美術館・アクアリンクちば・美浜文化ホール
- ・プロスポーツチーム（千葉ロッテマリーンズ等）
- ・幕張新都心業務研究地区・新港工業地帯
- ・区内大学・研究機関、インターナショナルスクール

でございます。

次に、冊子の5ページをご覧ください。2つ目といたしまして、「未来を展望した取組み」でございます。

### (1) 子育て世代への支援

平成27年以降、本区の人口は減少に転じる見通しですが、6区の中では年齢構成が緑区に次いで若く、子育て世代が多く住むという特徴があります。

このため、より一層子育てしやすい環境の整備が求められ、子どもたちが成人してもずっと住み続けられるよう、魅力を高めていくことが望まれます。

また、道路や公園などの公共施設や商業施設が計画的に配置されているなど、子育てに適したすばらしい環境であることを、子育て世代に広く知ってもらうことが望まれます。

## (2) 未来に向けたにぎわい創出力の維持・向上

幕張新都心の業務研究地区には、日本を代表する大型コンベンション施設である幕張メッセをはじめ、国際的な業務機能、特に本社機能、先端技術産業の研究開発機能などが集積しています。

また、タウンセンター地区にはホテルや商業施設が建ち並び、休日などには多くの人が訪れています。

幕張新都心のにぎわいを維持・向上するためにも、企業と地域がつながりを深め、ともにまちを育てていくことが望まれます。

次に、3つ目といたしまして、超高齢社会への対応でございます。

### (1) 急速に進む超高齢社会への対応

本区では、一人暮らしの高齢者が中央区と並んで多く、高齢者全体の約15%（平成22年6月1日時点）となっています。

今後は、一人暮らしの高齢者や、介護・支援が必要となる高齢者の急速な増加が見込まれるため、これらへの積極的な対応が求められています。また一方では、定年退職した方など、豊富な経験や知識を持った元気な高齢者が、地域活動の担い手として活躍できる仕組みづくりも求められています。

### (2) 集合住宅に住む高齢者等への対応

本区には住宅団地が数多く存在し、都市再生機構などの公的賃貸住宅が住宅全体の約35%を占めています。そのうち、昭和40年代から50年代にかけて建てられた5階建て集合住宅の多くは、エレベーターが設置されていない状況にあります。

そのため、ひとり暮らしの高齢者などは、外出、特に買い物などに支障をきたしている状況にあり、サポートが求められています。そのような中、一部の団地では、市と地域などが連携したモデル事業、住民主体の取り組みや、NPOの活動による問題解決へ向けた動きが見られ、こうした活動が他の地域にも広がっていくことが望まれます。

次に6ページをお開きください。4つ目といたしまして、「身近な地域でのつながりと支えあい」でございます。

### (1) 地域コミュニティの充実・再生

区民の自治会加入率は74.2%（平成23年3月末時点）であり、本市の平均的な水準にありますが、急速な高齢化や近年の高層マンションの増加などに伴い、地域コミュニティの希薄化が懸念されています。

このため、地域での交流や身近なまちづくりへの参加を通じ、人と人とのつながりを育て、コミュニティを醸成していくことが望まれます。

## (2) 多文化の共生

本区では中央区と並んで外国人登録人口が多く、約 6,000 人(平成 23 年 3 月末時点)の外国人市民が居住しています。

文化や生活習慣の違いなどから、近隣住民とトラブルとなるケースも見受けられますが、多文化共生の観点から、外国人市民と地域社会が日常的につながりを持ち、ともに地域活動の担い手となる取組みが求められています。

## (3) 身近な拠点機能の活用・強化

本区には小学校 24 校、中学校 14 校が立地(平成 23 年 4 月 1 日時点)していますが、一部の地域では、児童・生徒の減少により、市立小中学校の適正配置について議論されています。

このような背景と、学校が地域の拠点として機能してきたことを踏まえ、学校の統合に伴う跡施設の有効活用が望まれます。

また、区民にとって身近な愛着あるまちづくりに向け、今後区民のニーズを踏まえたきめ細かな対応を可能とする区役所のあり方が求められています。

## (4) 災害対策の充実

平成 23 年 3 月に発生した東日本大震災では、液状化などにより、道路や公園、上下水道などが大きな被害を受けました。

地震の直後から、町内自治会などにおいては的確・迅速な初動対応が行われたことから、平常時から地域におけるさらなる協力体制を築いておくことが望まれます。

また、幕張新都心をはじめ区内で多くの帰宅困難者が発生したことから、地域における帰宅困難者に対する支援体制の充実が求められています。

なお、この部分につきましては、区民検討会で素案を作成いただいた後、本年 3 月 11 日に発生しました東日本大震災の経験を踏まえて整えたところでございます。また、この現状と課題に対応して、この後の施策展開の方向性及び取組み項目につきましても、防災関係について記述をしてございます。

以上、美浜区の地域特性を踏まえ、課題を 4 つの区分で整理いたしました。そして、これらの美浜区の地域特性や課題から見えてくるとともに、区民の皆様方が力を合わせて進めていくまちづくりについて、今後 10 年、20 年後の区のあるべき姿として、区の将来像を掲げてございます。

7 ページ、「第 3 章 区の将来像」をご覧ください。区の将来像、キャッチフレーズとして、『美しい浜辺と様々な交流のある みんなで創るにぎわいと活力のあふれるまち 美浜区』～住んでみたいまち、ずっと住みたいまちを目指して～』としてございます。そして、キャッチフレーズの下に、区の将来像を解説的に文章として記載いたしました。

美浜区に住んでみたい、ずっと住みたいと思わせる将来像を思い浮かべてみます。

区の貴重な資源（たから）である、海のある風景や浜辺での憩い、幕張新都心のにぎわいなどを活かし、地域の人々が、こどもから高齢者まで、あたたかい心で、世代や国を超えて交流し、みんながともに「協力」して、自ら考え、「創り」歩いていく、ずっと住みたい輝くまち・・・  
未来はみんなが協力して創っていく・・・『協創』による未来  
『協創』…『協奏』  
『海』と『人』のハーモニーが織りなすまち  
それが未来の美浜区です。

区の将来像は、4つの区分に整理した現状と課題、そして、この後説明いたします美浜区のまちづくりにおける「施策展開の方向性」を4つにまとめた内容などから、美浜区の特徴を活かして当てはまるものを言葉としたものでございます。今後10年、20年後の区のあるべき姿として掲げた区の将来像について、区民の皆様、区役所などの行政、地域の企業・大学などがともに地域のことを考え、主体的に自分たちで協力して実現していくためには、ここに記載しました「協創」ということが重要となってきました。この後、説明いたします施策展開の方向性は、「協創」の考え方が基本となっております。

それでは、冊子の8ページをお開きください。「第4章 施策展開の方向性」をご覧ください。

美浜区の地域課題などの把握から、今後目指すべき区の将来像に向けて、区として取り組むべきまちづくりにおける施策展開の方向性を4つに整理しております。

- 1 海辺を活かしたにぎわいのあるまちづくり
- 2 魅力ある住み心地のよいまちづくり
- 3 誰もがいきいきと安全・安心に暮らせるまちづくり
- 4 世代や組織を超えた交流の盛んなまちづくり

の4つでございます。

また、美浜区独自の区の特徴や地域課題などに対応するまちづくりのため、美浜区の個性を高める取組みとして、2つを掲げてございます。

- (1) 団地の再生
- (2) 幕張新都心の魅力の向上と活用

の2つでございます。

それでは、1つ目の「施策展開の方向性」から説明いたします。9ページをご覧ください。

1 「海辺を活かしたにぎわいのあるまちづくり」でございます。本区には、いなげの浜・検見川の浜・幕張の浜といった人工海浜のほか、花の美術館・稲毛海浜公園プールなどを含む稲毛海浜公園、QVC マリンフィールドを含む幕張海浜公園など、区民

の身近な憩いの場となっている公園や施設があります。

また、幕張新都心には幕張メッセや大型商業施設なども集積し、多くの来訪者によりにぎわいを見せています。

こうした貴重な資源である海や海辺の施設、幕張新都心などを活かして、より一層の地域のにぎわいを創出いたします。

ここにあります海辺の地域資源につきまして、最初に「現状と課題」のところでキーワードを紹介いたしましたが、それらの美浜区の特徴的な魅力、貴重な資源である海や幕張新都心などを活かして地域のにぎわいを創出するものでございます。

施策展開の方向性を実現するための取組みは4項目でございます。

#### (1) 海辺の環境保全

身近な憩いの場である美しい海辺を、地域と協力して保全します。

#### (2) 海辺の魅力の発信

いなげの浜などの自然資源や幕張新都心を活かし、千葉市・美浜区の魅力を広く発信します。

#### (3) 集客による活性化

海浜部の公園や幕張メッセ、QVC マリンフィールドなどの集客力のある資源を有効活用し、市内外から多くの人に訪れてもらい、まちを活性化します。

#### (4) 海辺の新たな魅力づくり

さらなるにぎわいを創出する新しい海辺の魅力を発見し、活用します。

次に、冊子10ページをお開きください。2つ目の施策展開の方向性を説明いたします。「2 魅力ある住み心地のよいまちづくり」でございます。

本区は計画的に整備された街並みを有し、暮らしやすい環境にあるといえます。そのような美浜区に、今住んでいない人が移り住みたい、また、今住んでいる人がずっと住み続けたいと思える、魅力ある住環境を整えます。

特に、若い世代が住んでみたいと思える魅力づくりと、その情報発信を強化します。

こちらにつきましても、美浜区の魅力に関係してきますが、魅力あるまちづくりを進めることにより、多くの人に美浜区に住んでいただき、また、ずっと住み続けていただくためのものでございます。

将来像サブタイトルにもありますが、今住んでいない人が移り住みたい、住んでみたい、また、今住んでいる人がずっと住みたいという魅力ある住環境を整えていくものでございます。

施策展開の方向性を実現するための取組みは、4項目でございます。

#### (1) 魅力的な都市イメージの創出

美浜区に住んでいることを誇れるまちを目指します。

#### (2) 子育て環境の整備

若い世代が移り住むような、魅力ある子育て環境を整えます。

### (3) こどもの参画推進

こども一人ひとりが、地域の担い手として、地域に参画しやすい環境づくりを進めます。

### (4) 整備された街並みの魅力の発信

海浜ニュータウンや幕張ベイタウンなど、計画的に整備された街並みを活かし、内外にそのすぐれた住環境をアピールします。

次に、3つ目の施策展開の方向性を説明いたします。11 ページをご覧ください。

「3 誰もがいきいきと安全・安心に暮らせるまちづくり」でございます。こどもから高齢者まで、だれもが健康に、楽しく、安全で安心して暮らせるよう、地域における人と人とのつながりを広げ、深めます。

そのために、元気な高齢者などの地域参画を促していく一方で、健康づくりの支援や、様々なニーズに即した支援を受けられる仕組みづくりなどに取り組みます。

また、地震などの災害時に、地域で連携した対応が可能となる仕組みづくりを進めます。

これは、こどもから高齢者まで、生涯健康で楽しく安全・安心に暮らせるように、地域でのつながりを広めて深めるものでございます。区の将来像にあります交流や活力、サブタイトルの「ずっと住みたい」というところに関係するものでございます。

施策展開の方向性を実現するための取組みは、5項目でございます。

### (1) 高齢者の地域活動への参加促進

豊富な経験や知識を持った元気な高齢者などが、地域活動の担い手として活躍できる仕組みづくりを進めます。

### (2) 生きがいづくりの推進

身近な場での文化活動やスポーツへの参加を通じて、みんなが楽しく生きがいを持って暮らせる仕組みづくりを進めます。

### (3) 健康づくり活動支援

高齢者が寝たきりにならないよう、日々の健康づくりや介護予防に励むことができる環境を整えます。

### (4) ニーズに即した支援の提供

支援を必要とする人が、必要なときに、必要な支援を受けられる仕組みづくりを目指します。

### (5) 地域活動による防犯・防災機能の強化

日頃からのつながりを深め、地域の防犯・防災機能を強化します。

区の全域が埋立地であることを考慮し、地震による液状化や津波などに対する防災意識を高めるとともに、地域の企業などと連携した帰宅困難者の支援体制の強化を図

ります。

次に、冊子 12 ページをお開きください。4 つ目の施策展開の方向性を説明いたします。

「4 世代や組織を超えた交流の盛んなまちづくり」でございます。コミュニティの希薄化が懸念されていますが、世代や組織を超えた様々な交流を通じて、まちづくりの基本となる地域の力を高めます。

そのためにも、様々な主体が参加して、相互に理解を深め、お互いに支えあえる仕組みづくりを進めます。

これは 3 つ目の施策展開の方向性とも関係しますが、旧来の地域での活動においては、区役所などの行政や町内自治会、社会福祉協議会などの組織が中心となっていました。これからの将来に向かっては、地域で自ら問題を解決できるよう、様々な主体、例えば企業や大学、外国人、そして子どもや高齢者などが、世代や組織を超えて様々な交流を活発に行うことなどにより、相互に理解をして、お互いに地域で支えあうことができるような仕組みづくりを進めるものでございます。

施策展開の方向性を実現するための取組みは、5 項目でございます。

#### (1) 多世代交流の活性化

既存施設を有効活用し、子どもと高齢者など、地域における多世代の交流を進めます。

#### (2) 外国人市民の地域への積極的な参加促進

多文化が共生する環境づくりに向け、外国人市民も積極的に地域社会に参加できる環境整備を通じ、相互理解を促進します。

#### (3) 地域と企業・大学との連携

企業や大学が地域と連携し、地域の問題解決に向けて積極的に取り組むことができる仕組みづくりを進めます。

#### (4) 多様な人材の育成

ボランティア活動など、地域の様々な活動の担い手を確保するため、これからの地域を担う若い世代を中心として、子どもから高齢者まで幅広く人材を育成する仕組みづくりを進めます。

#### (5) 区役所機能の強化

区民にとって身近な地域の拠点施設である区役所の機能強化に向け、地域活動などのネットワーク機能やコーディネート機能などを強化します。

次に、13 ページをご覧ください。「美浜区の個性を高める 2 つの取組み」です。本区では、まちづくりの将来像の実現に向けた 4 つの施策展開の方向性に加え、本区の個性を高める 2 つの取組みを掲げて、その実現を目指します。これまで説明しました将来像実現を目指す美浜区の個性を生かした 4 つの施策展開の方向性のほかに、美浜

区の個性をさらに高め、将来像実現のために欠かすことのできないまちづくりの2つの取組みを別に掲げてございます。

1 つ目は「団地の再生」でございます。美浜区では避けて通れない大きな課題として、美浜区内に多く存在する1970年代前後に建てられたエレベーターが設置されていない5階建てなどの団地では、高齢者の方などが買い物等、日常生活に支障をきたしている状況がございます。団地にエレベーターが設置されていないという設備的、いわゆるハード的な問題もございますが、そういった状況の中で住みやすい環境をつくるには、いわゆる団地コミュニティをどのように再生していくかが課題となっていると考えられます。

13 ページの中ほどにございますとおり、取組み項目は4項目でございます。

- ・日常生活支援の促進

日常生活に支障のある高齢者などを対象として、買い物支援などの仕組みづくりを進めます。

- ・子育てを応援する団地づくり

若い世代にとって魅力的な団地となるよう、子育てしやすい環境づくりを進めます。

- ・外国人市民と共生する地域づくりの促進

団地に住む外国人市民とともに、暮らしやすい地域づくりを進めます。

- ・団地再生活動の促進

地域における様々な主体の連携促進などを通じ、地域が主体となった団地再生活動を促すための環境づくりを進めます。

2 つ目は「幕張新都心の魅力の向上と活用」でございます。美浜区には貴重な財産である海に関するもののほかに、幕張新都心周辺のにぎわいがございます。国際会議場の幕張メッセ、国際的な大企業本社機能、先端技術産業の企業、研究開発機関、JR海浜幕張駅周辺の商業施設、文教地区の大学など高等教育機関、インターナショナルスクール、海浜幕張公園内の、千葉ロッテマリーンズの本拠地でもあるQVCマリンプールド、デザイン性にすぐれた住居地区の幕張ベイタウンなど、幕張新都心の魅力ある資源がございます。それらの魅力を地域で再認識し、さらなる有効活用を目指していくものでございます。

そのためには、新しいまち、新しい施設などであっても、現在の魅力を今後も維持していくために、どのようにしていったらよいのか、また、そのさらなる向上のためにはどのようなことをしていくべきかを真剣に考えていく必要があります。他区にはない貴重な財産である幕張新都心の魅力をさらに高め、有効に活用することにより、美浜区全体、ひいては千葉市全体の魅力を高めていくものでございます。

13 ページ下段にありますとおり、取組み項目は4項目でございます。

- ・国際性を活かした地域づくり

幕張メッセなどを活かし、業務拠点・レクリエーション拠点としての国際性の豊かな魅力としてとらえ、幕張新都心における様々な交流やにぎわいを創出します。

・千葉ロッテマリーンズとの連携

QVC マリンフィールドを本拠地とする千葉ロッテマリーンズと連携し、スポーツなどを通じた区民との交流を進めます。

・幕張新都心の魅力の発信

多くの人を訪れる幕張メッセや QVC マリンフィールドなど、幕張新都心の魅力を活かして、千葉市・美浜区の魅力を広く発信します。

・企業との連携によるまち育て

幕張新都心の企業とつながりを深め、ともにまちづくりを進めます。

「美浜区基本計画」の説明は、以上になります。長時間ご清聴いただき、誠にありがとうございました。

この後、10 分間の休憩を挟みまして、「美浜区基本計画～みんなのちからを集結したまちづくり～」についての意見交換を行いたいと思います。会場の時計で、ただいま 6 時 50 分でございますので、10 分間休憩を挟みまして、再開は 7 時ちょうどとさせていただきますと思います。

それでは、大変お疲れさまでした。10 分間の休憩を挟みたいと思います。よろしくをお願いします。

( 休憩 )

## ○美浜区長

それでは、お約束の時間になりましたので、これより会議を再開いたします。

この後は座って進行させていただきます。よろしくをお願いします。

これより、区民主体のまちづくりを進めるためには地域内の様々な団体等がどのように連携・協力していくのか、区役所の役割などについての意見交換をお願いしたいと思います。終了は午後 8 時を予定しておりますので、活発な意見交換となりますよう、皆様方のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

まず最初に、本日の会議に当たりまして、参加者の皆様に事前のアンケートにご協力をいただきましたことに厚く御礼を申し上げます。ご回答いただきました事前アンケートを集計し、取りまとめたものを本日皆様に資料配布してございますので、そのアンケートの集計結果につきまして、少し触れさせていただきたいと思います。

まず、設問といたしまして、①として、「今現在、地域の活動において特に力を入れて取り組んでいることはありますか」、②として、「今現在、地域において何か解決しなければならない課題等がありますか」、③として、「今後どのような課題が出てくると考えていますか」、④として、「今現在、地域内の自治会等において若い活動の担い

手の確保・育成に関して何か取組みを行っていましたが具体的な書きください」、⑤として、「今現在、地域内で自治会以外で連携している団体等がありましたら具体的に書きください」、⑥として、「今後地域内のまちづくりのためにどのような団体と連携をしたいですか」、⑦として、「『みんなのちからを集結したまちづくり』について何かアイデアがありましたら、書きください」という設問でアンケートをお願いいたしました。

お手元の集計結果は、回答の多かった順に取りまとめをさせていただいておりますが、1番の「今現在、地域の活動において特に力を入れて取り組んでいることはありますか」ということで、高齢者生活支援・見守り活動が8件ございました。自治会内外における連携強化が5件、防災対策が3件、防犯対策が3件、自治会の運営の見直し及び強化・担い手の確保が2件、外国人市民対策として2件、その他としてのくくりが5件、こちらに記載をさせていただいております。

次に、2番目としましては、「今現在、地域において何か解決しなければならない課題等がありますか」ということで、増加する高齢者対策が7件、自治会及び住民間のつながりの強化・自治会活動の担い手の確保が6件、地域ごとの防災体制の整備が3件、外国人市民への対応が2件、その他として、ここに記載しております6件というところでございます。

次に、「今後どのような課題が出てくると考えていますか」ということですが、急速な高齢化への対応が6件、地域コミュニティの強化・自治会活動における担い手の確保が5件、想定される大規模災害への対応が4件、外国人市民との多文化共生が2件、その他といたしまして、ここに記載のありますとおり4件でございました。

美浜区だけではない千葉市全体、あるいは日本全体の課題かもしれませんが、「高齢者」という言葉の数に大変驚いておりました、やはり、皆様方、美浜区内どの地域におきましても、高齢者あるいは急速な高齢化ということを経験認識されておられまして、既に地域の皆様方大変ご苦労が多いところで、やはり言葉としては、「高齢者」ということが挙がってくるのだなということを実感した状況にございます。

次に、4点目としては、「今現在、地域内の自治会等において若い活動の担い手の確保・育成に関して何か取組みを行っていましたが具体的に書きください」ということで、回答といたしまして幾つも挙げていただいております。

さらに次に、「今現在、地域内で自治会以外で連携している団体等がありましたら具体的に書きください」ということで、社会福祉協議会等、ここに書いてありますとおり、それぞれの地域で連携を今現在しているという回答でございましたが、この中で、社会福祉協議会や青少年育成委員会というのは割と連携しやすい団体になるのかなという印象で、しかしながら、地域の拠点として、小学校が3件、中学校が2件ということで、記載がなかった方もあったのかもしれませんが、区内で小中学校と実際

に連携をとった活動がまだまだされていないのかなと感じました。

「今後、地域内のまちづくりのためにどのような団体と連携をしたいですか」といいますと、小学校、中学校、公民館といった公的施設と連携をとりたいというのは 8 件ございますが、おおむね 8 地区の中学校地区の皆さんが同様に考えておられるのかなと感じたところでございます。

アンケート集計結果につきまして、簡単に説明をさせていただきましたが、高齢化という現実、あるいは、これからの課題ということを踏まえまして、実際に、今現在、地域における次の担い手の育成といいますか確保、そういったことについて、何かしら皆様方が今できていることとか、こうしたらいいのではないかというようなことを、ご提案なり意見交換をしていただきたいということがまず 1 点目の目標ですけれども、いかがでしょうか。ご発言の場合は挙手をしていただきましたら、マイクを持って参上しますので、今既に取り組みされているような事例紹介等がありましたら、よろしくお願ひしたいと思ひます。

アンケート集計結果の 5 ページになりますが、「中学生に地域のお祭りや敬老会などの行事にボランティアとして参加してもらふ。そのことにより、学校、こどもと地域の人々の交流を図っている」というところですが、こちらはどの地区になりますでしょうか。

どうぞ。

#### ○第 29 地区理事（高洲第一中学校区）

私どもは、例えば、中学校の生徒さんなどを、毎年、自治会の祭りとか敬老会に、敬老会というのは、主に鶴を折っていただきまして、それで、お年寄りに配ってもらうということをやっております。それから、先ほど言ったお祭りのこどもを集めるために、どうしても中学生の手を借りたほうが集めやすいということで、何年かやっております。

#### ○美浜区長

実際に、敬老会等で中学生と高齢者の方が交流されるのでしょうか。

#### ○第 29 地区理事（高洲第一中学校区）

そうですね。若い中学生あたりが来ますとお年寄りは喜ぶんですね。ですから、そういう意味で、敬老会等で若い人にお手伝いをしてもらうということは非常にいいことだと思います。

#### ○美浜区長

敬老会の運営に参加しているんですか。

○第 29 地区理事（高洲第一中学校区）

運営にはかかわらないですけども、要するに、顔を見せるということで、学校自体がそういうぐあいに、地域の例えば敬老会とか祭りの手伝いに出るということを奨励しておりますものですから、それに甘えて、私どももそれを利用させていただいています。

○美浜区長

ありがとうございます。

ただいまの発表の事例に近い活動は、どこの地区でも行われているのでしょうか。

○第 47 地区理事（打瀬中学校区）

やっていますね。

○美浜区長

第 47 地区（打瀬中学校区）で行われているのですね。

（第 28 地区理事（幸町第一中学校区）理事をみて、）第 28 地区（幸町第一中学校区）でも行われていると。

○第 38 地区理事（稲浜中学校区）

学校にお願いするのもいいんですけど、校長先生、教頭先生は出てこられるのですが、担任の先生方はなかなか出てきていただけないんですよ。地域としてもっと出てきていただきたいかなと。小学生は特にそうなんですけど、担任の先生が出てくれば生徒も出てくるんですよ。ところが、校長先生・教頭先生にお任せで、そのとき募って出てくるんだったら担任の先生が出てくるのが普通じゃないかと思うけど、それがなかなか出てこられないんですよ。学校の先生も地域と一緒にいろんなことをやるということを期待したいと思っています。校長先生・教頭先生は、管理職ですから出てきますけど、地域でやる行事というのはほとんど土日が主になりますので、一般の先生方というのは土日出勤に手当は出ません。これはボランティアですからね。そういう状況もあって参加できないということがあるのだと思いますが仕方ないのでしょうかね。

○第 29 地区理事（高洲第一中学校区）

生徒が参加するしないというのは、校長先生の配慮ですね。私どもは育成委員会と

しても地域に参加するようにしておりますので、校長先生や教頭先生の配慮ということですが。

### ○美浜区長

あと保護者の方との交流、例えば敬老会などのときに、高齢者の方とこどもの保護者の交流というのはいかがでしょうか。要するに、こどもがいる若い世代の方たち。

### ○第 29 地区理事（高洲第一中学校区）

ご両親の参加は余りないですね。学校の先生から話があって、どうしてもこどもたちだけで来るというスタイルですかね。それを私どもは毎年学校にお願いしてやっています。

### ○第 47 地区理事（打瀬中学校区）

私のところは、ボランティアで敬老会など、保育園の児童だとか小学生だとか中学生だとか、こどもさんにアトラクションをやってもらっているんですけども、特に保育園とか小学校などでやりますと、その見学に保護者がたくさんおいでになる。ただし、それが本当に交流につながっているかどうかということは若干疑問なんですけど。ですから、行事にそういう形では参加してくるようですね。

それから、先ほど、ボランティアで教師が参加しないというようなお話がありました。私ども、毎年 1 月におもちつきをやるんですけど、これは、一大行事にもなっていて、学校のほうも先生方が 1 つの学校から大体 5～6 人は参加をさせていただきますね。

それから、さっき、校長先生、教頭先生がおいでになるというお話がありましたけれども、校長先生や教頭先生がおいでになって、そういう姿勢を示されれば、多分、先生もおいでになるんじゃないかなと。最初のころは、おもちつきなんかでも、校長先生や教頭先生はおいでになるけれども、一般の先生方はそんなにおいでにならなかったんです。最近は結構先生方もたくさんおいでいただけるというような形ですね。だから、やっぱり校長先生、教頭先生がそういうことに關心を持って多少勧めただけであれば、そういうことができるようになるのだらうと思います。校長先生、教頭先生がそういうことを義務感みたいな形でやられていたのでは、なかなかうまくいかないんじゃないか。

だから、やはり地域の中で私のやるべき仕事としては、こどもを育てることもあるけれども、そのこどもを育てるということについては、単に学校がやるだけではなくて、地域でこどもを育てるんだというような考え方を持っていていただく校長先生がいらっしゃると、かなり変わるんじゃないかなと思っています。

## ○美浜区長

ありがとうございました。

第33地区（磯辺第一中学校区）さん。

## ○第33地区理事（磯辺第一中学校区）

私は、このアンケートでは、4番、「今のところ取組みを行っていない」ということで書いてお出ししたんですが、実際、磯辺の場合には、社会福祉協議会の高齢化委員会で、各小学校を順番に、その小学校の取り組む範囲内の老人会の人たちをお呼びして、参加するのは三、四十人いらっしゃいますか、そういう人たちをお呼びして、午前なら午前、学校のクラスで生徒たちと交流をするという取組みを毎年やっているんです。

それともう一つは、磯辺の敬老会ではお茶室をやっています。これもやはり順番にしているのですが、各小学校の大体4年生か5年生ぐらいのこどもさんたちを、コーヒー館ですとか、甘味喫茶だとか、ところてんだとか、いろいろやるんですが、そういうところのお手伝いを全部募集して、学校から先生が引率して来てもらう。こどもたちがお茶を持っていったり、お菓子を持っていったり、お汁粉を持っていったりしたときに、敬老会に来たお客さん、老人の方たちに、「ありがとう」とか「おいしかったよ」とか、そう言われるその言葉が、こどもたちに後で感想文を書かせますと、「ためになった」とか「喜ばれてとてもよかった」というこどもたちの反応が非常に出ています。そういう点では、そういう行事を大事にして、こどもたちとの交流を続けていきたいと思っています。

## ○美浜区長

ありがとうございました。

この話題に触れてみたのは、小中学校は地域の拠点でありますし、そういったことで私ども区役所としましても、区内にある小中学校の先生方との交流ということに取り組むことはできるのかなと思ったこと、それから、そういうことによって、地域でこどもを育てている次代を担う世代の若い方々が、地域あるいは高齢者の方と交流を図っていける一つのツールになるのかなと感じたものですから。

今、既にどこの地区でも取り組まれているということですがけれども、実際の行事の内容であったり、あるいは、今お話を伺いますと、校長先生の意向であったり、そういうことに非常に左右されているように思いますので、皆様方のお力を借りながら、区役所としても、これからは各学校に少し働きかけるような、あるいは先生方と区役所職員とが交流できるようなことも一つかなと感じております。ぜひ、そういうとき

には、地域の皆様方も一緒に、かたい会議ではない中で、何回もいろいろな話をする中で、接点ができたり、いろいろな取組みが進められていくのかなとも思っております。

どうぞ。

#### ○第 38 地区理事（稲浜中学校区）

今の件に関してですけど、私ども、小学校単位で毎年運動会をやっているんです。運動会には保護者会を引っ張り出して、会長、副会長、会計さんあたりに実行委員会に入ってもらってやっているんです。保護者は私たちのこどもくらい年齢が違いますので、人材というのは、だれがどういうことをやるのか団地内でも全然わからないのですが、そういうところに出てきてくれる人はある程度地域のことも考えてやっているなということで、3年ぐらい前ですか、小学校の保護者会の会長をやっていた方にお願ひしましたら、民生委員を引き受けてくれました。そうやって我々も若い人に飛び込んでいって一人ずつピックアップしないと、人材の確保というのは難しいんじゃないかと思うんですよね。ですから、私たちは運動会をやったりお祭りをやったりして、必ず保護者会もグループの中に入れる。そうすると顔なじみになって話し合いもできる。若い知らないお母さんとしゃべっていたら変に思われますが、そういうところの会議だったら別段支障がないので、そうやって一人ずつでもいいから、若い人を取り入れるようにしているのが現状です。

#### ○美浜区長

ありがとうございました。

それでは、地域の小中学校、若い世代の担い手の育成というような観点から、今のことについてご発言のなかったところに順次、まず第 28 地区（幸町第一中学校区）の皆様方の現状の小中学校とのかかわりということがありましたら、お話しいただければと思います。

#### ○第 28 地区理事（幸町第一中学校区）

第 28 地区（幸町第一中学校区）は、青少年育成委員会が第 36 地区（幸町第二中学校区）さんのところと 2 つになっているということがあるんですけど、幸町 2 丁目全体では、学校と常に連携しているのは敬老会、それから団地祭、お祭りですね。それから防災会、コミュニティづくり懇談会、これは地域を挙げて、地域とこどものふれあい、伝承遊びというものをやっています。敬老会では、設営から片づけまで、中学生が 60 名ぐらい参加して、道の案内から接待から全部行います。これはレールが敷か

れていますから、人数さえ集めて何をやるという指示を出せば、自主的にぱっぱぱっとやれるようになっていきます。

防災訓練も年を重ねるごとに、出てくる子どもたちは、卒業していきますけれども、ちゃんと引き継がれていて、回を重ねると自主的に出てきます。

伝承遊びは、小学生から中学生、これも中学生が50名ぐらい出てきて、小学生にいろいろな伝承遊びを、自分でできるものを教えながら、自分も楽しみながらやるということで、非常にうまく交流が図れているなと思っています。

学校との関係は非常によく、東日本大震災のあった3月11日のときも、余震が怖くて家にいられない避難者が出るだろうということで、すぐ学校の教頭に電話しましたら、「わかりました。開けておきます」ということで、1つの小学校に100名ぐらいずつ泊まるという状況が出て、寒いからといってストーブも出すとか、いろいろやってくれました。だから、うちは本当に学校との関係は実にうまくいっているということがあります。

特に私が中学生に力を入れているのは、行事に参加をさせるだけではなく、参加させたことによって、中学生が社会人になったときに、いろいろなその経験を活かせるだろうと。やったことは必ず思い出す。やらないことは思い出しようがないから次の役に立たない。だから、経験をさせることが大切だという趣旨で、いろいろな行事に中学生を引っ張り込んで、学校も幸町ではそういうことをやるものだというふうに各学校は位置付けていますので、非常に協力体制はうまくいっているという状況です。

ただ、これから一つ課題になっているのは、ただ参加させるのではなくて、企画の段階から、こういうことは中学生に最初から企画してもらって、実際にやらせたらどうかということ、中学校に提案していこうかなと。特に防災関係では、指示してやるのではなくて、こういうことは中学生が主体的にやってほしいというように考えているところです。非常にうまくいっております。

## ○美浜区長

今、防災という言葉が出ましたけれども、東日本大震災のありました3月11日には、それぞれの小中学校によって対応が様々だったというふうに聞いておりますし、ただいま地域防災計画の見直しということで避難所ごとの今後の対応マニュアルについて検討しているところでございますけれども、日頃から、そういう連携、あるいは地域に開かれた小中学校ということが築かれている、そういう体制であれば、いざ震災というときにも役に立つのかなと思いました。

## ○第28地区理事（幸町第一中学校区）

申しおくれましたけど、学校が出てくるとき、伝承遊びとか敬老会という、大体、

教務主任以上は皆出てきます。それに担任がついてきたりします。

### ○美浜区長

ありがとうございました。

それでは、第 30 地区（幕張西中学校区）ではいかがでしょうか。

### ○第 30 地区理事（幕張西中学校区）

第 30 地区（幕張西中学校区）は、学校関係のおつき合いというのは、ごみゼロ運動だとか運動会、盆踊り大会、そういう行事に来てもらっていろいろやってもらっています。

それから、最近私のところでは、全部ではないですが、中学生が月 1 回資源ごみの回収に来てくれます。私のところも高齢者が多くなっているのですが、わざわざ出さなくても、自分の階段に置いておけばいいということで、非常に喜ばれております。その月の売上もちゃんと学校のほうから発表してくれますし、皆さんに協力をいただいております。

学校関係は、私も不勉強なんですけど、今回の震災の件で、地区で防災訓練をやるときに、小学校だったんですが、小学校の屋上に上がる訓練をさせてくれないかという申し入れをしたところ、断られました。それからもう一つは、小学校に備蓄品を置いてあるんですが、この内容を年 1 回は我々で調査しています。今年は、役員も土日がいいだろうということで日曜日に計画をしたんですが、学校側から「日曜日は対応できません。」というような回答が来まして、今のところ実現しておりません。近々またやりますけれども。

先ほど言いました屋上に上がる訓練の件につきましては、許可が要るのかどうかは私も気になりましたので、先だって、市の教育委員会に相談に行きました。そうしたら、「学校長の許可を取っていただきたい」という回答はもらいました。

あと大学関係でも、近くに神田外語大学さんがあるものですから、いろいろ学校を利用させていただいたり、それから、先ほど言いました運動会とか盆踊りに学生が出てきて、踊りを手伝ってもらおうということをやっております。

あと幕張メッセのある幕張新都心との関係でも、特に中学生は、年に 1 回は幕張新都心の各企業を見学しています。提携まではいかないですが、許可をもらって、あちこち事務所等を見学しております。非常に喜んでおりました。

それから、おかげさまで美浜区は、メッセというのは非常に全国的に知られておるようでございます。私も時々地方にも行くんですが、「千葉のどの辺にお住まいですか」と聞かれて、美浜区と言ってもわかりませんので、「幕張メッセの近くですよ」と言うと、「ああ、幕張メッセの近くですか」と。この前も関西のほうに行ってきましたが、

そういう話がありまして、美浜区の幕張メッセというのは、いろいろ売り出してもいいんじゃないかなと。　そういうことで、幕張メッセとプロ野球の千葉ロッテマリーンズ、美浜区としては非常に全国的にも有名になってきておりますので、この地区をいかにして盛り上げていくか、今後我々も、皆さんと相談して PR していきたいと思っております。

## ○美浜区長

ありがとうございました。

それでは、第 31 地区（真砂中学校区）さんでは小中学校とのかかわりというのは何か事例はございますでしょうか。

## ○第 31 地区理事（真砂中学校区）

私のほうは、皆さんと同じように、学校についてはお祭りでブラスバンド等を頼むとか、そういうことはあるんですけども、ちょっと私が言いたいのは、町内会として、こどもとの交流がだんだん……。

私どもも、昔は、運動会、マラソン大会、イモ掘り、お祭り、ラジオ体操、バス旅行、サイクリングとやっていました。私は三十何年町会長をやっているんですけども、大きく様変わりしたわけです。最初のころは、そういうものをやっても、100 軒ぐらいの町内ですけど、盛んなときは 200 人ぐらいこどもがいたわけです。そういうときは何をやってもこどもがたくさん集まりました。今は本当に合併合併ですから、こどもは少ないんですね。それで、この辺の再生を図ろうということで、学校でもいろいろあるでしょうけれども、自分たちの力で再生を図ろうということでやっています。

今、3 年経ちましたけれども、その 1 つとしては、お祭りがありました。こどもを呼び込もうということで、それが一番いいんじゃないかということでやりましたら、これは大変な、100 軒ぐらいでも 200 人とかが集まるわけです。それは、子、孫とかを含めて。その結果、やはりここがいいということで、また戻ってきて親と一緒に住むとか、そういうような三世代の効果が上がってきていると思います。

だから、一番身近でやると、例えば区のお祭りであるとか、私の第 31 地区（真砂中学校区）でもあるんですけども、自分のところのお祭りをやると圧倒的に集まりますよね。子、孫というか、そういう世代が来るので。やはり、身近で復活させたほうが出やすいんですね。

地域のマンションのもちつきとかいろいろあるんですけども、見ていると、全体で何かやっても余り集まらないけれども、身近なマンションとか管理組合とかそういう自治会でやれば、ワッとこどもと親子が集まります。そこでコミュニティができて、

近くに引っ越してくるとか、親の近くに来るとか、あるいは、家を建て替えてそこへ住むというようなことにつながるようなので、やはり身近な自治会が、再生という意味で、もう一回復活させる意味でやると生き返ってくるなということは、私も三十何年やって一番実感しましたね。そういうことです。

### ○美浜区長

ありがとうございました。

それでは、第 36 地区（幸町第二中学校区）さんでは小中学校との関係などはいかがでしょう。

### ○第 36 地区理事（幸町第二中学校区）

私どもの学校との関係は、多分第 28 地区（幸町第一中学校区）さんのほうと同じで、6 校が共同歩調をとっていると思うんですね。ですから、敬老の集いには中学生がたくさん来て、設営をしたり、後片づけもしたり、それからお客様の案内をしたりということで、活発にやっております。学校との関係は、学校のほうも地域に何か貢献したいという強い意思を持っていますし、私どもも頻りに訪れて協議をしたりということで、いろんな交流が進んでおります。

例えば、今は、春に運動会をやっていますが、4 年生か 5 年生がよさこいをやったり佐渡おけさをやったり、いろいろあるんですね。3 年前に校長先生に話して、「あれを盆踊りにやってくれないか」ということでお願いしましたら、盆踊りの一番最初に子どもたちがぞろぞろぞろと来て、そうすると、その 3 倍ぐらいの親とかおじいさんとかおばあさんがついてくるものですから、大変盛り上がりまして、黒山の人ばかり。高いほうから見て「あれは何だ」ということで、そんな話もありました。

学校からも地域は大変頼られまして、今度は来週、幸町第三小学校が 800 名いるんですが、うちのほうのマンションに、津波の避難訓練で 800 名が全部分かれて入りたいということで、実施することになりました。これは大騒ぎになるだろうと思うんです。住民の中には「うるさい」と言う人もいますから。それでも子どもの命は大事ということで、まず、全国的にも 800 名の子どもが近隣のマンションの中に避難することは余りないだろうと思います。

それ以外に、若手といいますと多分現役世代のことになると思いますが、実は、今、私どもは防犯パトロールを非常に積極的にやっております、現役世代、PTA を中心に約 70 名ぐらいの人が参加してくれています。これは、5 年前に学校へ乗り込んでいて、青少年育成委員会と PTA と学校の当事者を全部集めまして、みんなで子どもを守る運動をやろう、我々も積極的にやるということで説得しました。何も起きていないのになぜやるのかということで抵抗もありましたけれども、これが年々発展してい

きまして、今、現役世代の人たちを含めまして約 70 名ぐらいが参加してくれているということで、非常に盛り上がってきております。

それから、現在、地域課題解決の協議会を設けていますけれども、ワーキンググループを全部若手に任せました。頭は 50 代ぐらいですけれども、ほとんどは 30 代から 40 代の人たちで、非常にキレるし、社会で訓練を受けている人たちですから、業者に任せてやったら 1 カ月半ぐらいかかるんじゃないかと大学の先生が言っているアンケートなんかも、10 日で全部集計してグラフまで作りました。非常に有能な人たちを中心にやっていますし、コミュニティの中核の中に、そろそろということであるという現役世代の人たちを今入れて、大体 3 分の 1 ぐらいは現役世代の人たちが入ってきたという状況です。若い人たちが活動することによって、我々も負担が軽くなって、また新しい展望が開けるということで、非常に期待しております。

以上です。

## ○美浜区長

ありがとうございました。

アンケート集計結果では「高齢者」ということが一つのキーワードになったように思いますが、高齢者や高齢化率についてここで議論をしますと、なかなか答えが見つからないのではないかと思いますので、敢えて、若手、地域の担い手について、ご提案なりご意見をいただきましたらと思い、まず最初のテーマとして、ご発言をお願いしました。

実は、担当のほうで、今、皆様方から発言いただいたキーワードをホワイトボードのほうに記入をしております。ホワイトボードをご覧くださいますと、運動会、祭り、敬老会、防災会での交流ということで、学校へ担任と地域のかかわりを望む。担任の方も地域にかかわってもらいたい。校長先生・教頭先生の動きが関係してくるのではないかと。交流を通じて子どもたちに喜びを持ってもらう。こどもの保護者に声をかけるというようなことが出ております。

行事参加という経験を将来へ活かしてもらえる。企画から主体的に参加してもらってはどうか。それから、資源ごみの回収に協力をしていただいている。防災訓練で学校と連携したいなどあります。

身近なところで夏祭り等をすると、三世代交流、こどもも孫も集まってくるのではないかとというようなお話がありました。

幸町では、学校が 1 丁目も 2 丁目も同様に地域との交流に積極的にかかわっている。次に、800 名のこどもさんが避難訓練を実施する予定があるというようなお話がありました。また、防犯パトロール、地域課題解決のワーキンググループを若い方をお願いをしているというようなお話もありました。

これからも、魅力ある美浜区づくりのためには、次の世代の若い方々にどうバトンタッチしていけるかというようなことも大きな課題なのかなと思っておりまして、何かしら新しい提案ですとかをいただきまして、「こういうようなことで区役所が動いてくれたら」というようなことがありましたら、そのために地域振興課がこの4月に強化されまして地域づくり支援室ということにもなっておりますので、ご提案等をいただけたら大変うれしく思います。

そして、もう一つのテーマとしまして、今日は資源の有効活用ということで、先ほど、第30地区（幕張西中学校区）さんから、幕張メッセというようなお話、それからベイタウン、幕張新都心というお言葉もありましたけれども、このことについて、なかなか区役所で具体的に行動するということが思い浮かばないものですから、皆様方が、こういうふうにしたらいいのではないかということがありましたら、美浜区は本当に魅力ある施設があったり、環境が整っていると思いますので、このことにつきましてご提案をいただけたらと思います。いかがでしょうか。

#### ○第38地区理事（稲浜中学校区）

埋め立てのころは貝がとれたんですよね。いなげの浜へ行ってアオヤギ、今晚のおかずにといので出かけたんですけど、今は一切とれないです。船橋あたりでは、今、潮干狩りができますよね。せっかくあれだけの浜があるんですから、まあ、お金はかかると思うんですけど、潮干狩りぐらいできるようにすれば、もっともつとにぎわうんじゃないかと、私、今考えたんですけど、いかがなものでしょうか。

#### ○美浜区長

ありがとうございます。

地域の皆様方、あるいは自治会の皆様方、そして区役所と力を合わせて、「こんなことだったらできるんじゃないか」とか、「こんなことをやってみたい」というようなご提案がありましたら。いかがでしょうか。

#### ○第47地区理事（打瀬中学校区）

できるかどうかなんですけど、ご検討いただきたいと思っておりますのは、ここに書いてありますように、本当に魅力的な浜を持っているわけです、海辺を。ところが、実際には、その海辺を管理しているところは、国があり、県があり、市があり、管理がばらばらなんです。私ども、今度、まちを通過して海岸に出るスカイブリッジという橋ができるんですけども、出たら何もありませんよ。しかも、その海は、とにかく、「海に入ってははいけません」「危険ですから入るな」というような立て看板がしてあるような状況なんです。ですから、本当を言うと、今おっしゃったように、海水浴が

できるかどうかは別にして、「入るな」という海じゃないような形にならないと。それをやろうとすると、先ほど申し上げたように、管理は、国があり、県があり、市がありというような、この辺になると我々には全く手が及ばないという感じがしますので、行政として、こんなことはどうするんだというような問題指摘をいろいろしていただいて、県に働きかけるなり、県を通じて国に働きかけるなり。橋一本建てるのでも 3 カ月ぐらいかかる許認可やいろいろなことがありまして、できなかつたんですよ。ですから、行政の立場でやっていただきたいことは、行政の間でそういう整理をしていただくということをお願いしたいと思っております。

### ○美浜区長

ありがとうございました。最初に「できるかできないかわからないけれども」というようなご提案のまくら言葉をつけてのご発言をいただきました。

第 36 地区（幸町第二中学校区）さん。

### ○第 36 地区理事（幸町第二中学校区）

私どもは、なかなか浜辺にすぐ出ていくというわけにはいきませんが、うちのほうにある社会資源というのは保健所と幸町公園ぐらいのものです。実は、この幸町公園の改修を数年前にお願いしまして、やってもらったんですけども、バリアフリーとか安全安心とか、いろんな立場から住民が市のほうに提案してやっていただきました。それ以降今まで、どこの公園もほとんど昼間に人を見かけるということはなかなかないのですけれども、改修をしましたら、地域の憩いの場として人がたくさん来るようになりました。とにかく、驚くぐらいです。

それで、今、公園友の会というものをつくりまして、会員が 60 名ぐらいいるんですけども、花の公園にしようとか、それから、自分たちでバラの剪定を教わって、先生に来てもらって講習を受けたり、自分たちで活用しやすい、そして魅力のある公園にしようと、住民サイドでそういう運動をしております。

来年の 2 月、藤の棚があるんですけども、これが時によって大変見事な藤が咲きます。去年は業者の人が全部刈っちゃったものですから、ほとんど芽が出なくてだめだったので、今度は藤の剪定を自分たちでやろうということで、公園緑地事務所に頼んで、先生に来てもらってやるんですけども、そうやって自分たちの庭みたいな感じでやることによって、非常に利用者も増えるし、それからマナーもよくなっていくということで、そういう身近な何でもないものを自分たちの資源として活用していこうという運動をしております。

### ○美浜区長

ありがとうございます。

公園にしても、ただそこにあって木が植わっているだけでは、なかなか活性化しないかもしれませんけれども、それは住民の皆様方の公園なわけですので、皆様方が使いやすいように、どうあったらいいかなということを皆さんで検討いただいて、自分たちの手で使いやすいようなまちにしていく。そうしますと、まちも明るくなって人も出てきやすいということになるのでしょうか。ありがとうございました。

先ほどの海岸の話ですけれども、私どもも発言していかなければいけません、ぜひ、住民の皆様方も、こうしたい、自分たちはこういうことができる、というようなことをご提案いただけると良いと思います。

#### ○第 47 地区理事（打瀬中学校区）

3 年前に、海浜幕張公園森林地区の開発計画を県が主導してやったことがあるんです。ちゃんと具体的な案を出したんです。実はそこでとまっているんですよ。せっかくそこまで検討したんだから、それをフォローしていただく。これは千葉市も何か多少関わっていらっしやったはずですよ。

#### ○美浜区長

そうですか。確認してみます。

#### ○第 47 地区理事（打瀬中学校区）

だから、そんなことがあって、せっかく行政が主体でいろんな検討をして、かなり夢のあるような絵も描けたんですけれども、絵が描けただけで終わっているというようになっていますね。

#### ○美浜区長

ほかにいかがでしょうか。

#### ○第 31 地区理事（真砂中学校区）

せっかく花見川のサイクリングロードがあるわけです。美浜区から印旛までずっと。これを私は来年やってみようかなと思っていることがあるんです。自分たちに何ができるかということが大事なので、なるべくそういう趣旨で、さっきの祭りでもそんなんですけど、人ばかりにやらせてもね、自分がやらなきゃいけないんですけれども。

そういう趣旨から言うと、サイクリングロードの花見川沿いのところは結構木が乱雑になっている。手入れが悪いものだから。しびれを切らせて、桜もそうなんですけれども、住民がバリバリのこぎりで切っちゃっているわけです。だから、桜は乱伐す

ればいいというものじゃないんです。今度、新しい制度を活用して、サイクリングロードの今の手入れの悪い木を、せっかく立派なロードですから、きれいに手入れをして、公園らしくしたいなと思っているので、そういうことをもっともっと募ってやってもらいたいなという感じです。

東京だと板橋あたりにあるんですけども、大きい木でも切れる道具を用意して、そして手入れをして、せっかく立派な花見川沿いですので、サイクリングロードの木の手入れをして、間伐もして、松でも見た目をよくしたい。桜の木もそうなんですけど、見た目をよくしたらどうかなという感じがします。

それと、花見川沿いにテラスがありますよね。特に打瀬、向こう側のほう。あれがごみだらけで汚いんですね。ごみが捨ててある。せっかく立派な、恐らくあそこのテラスにおいて楽しむ、散策するという意味でつくったと思うんですけども、ものすごいんですね、汚くて。地震のせいもあるんですけども、その前からも。あれも、そういうものを募って、せっかくある花見のテラスを、花を飾ってもいいでしょうし、タイルに絵を描くとか、そういうような隅田川並みに立派にしたいなという思いは持っているんですよ。そういうことも一つ提案したいと思っています。みんな市民の力を利用して。絵を描くのがうまい人はいますよ、センスのある人が。あれはせっかくですので、一つの名所にしたいと思っています。

以上です。

#### ○美浜区長

ありがとうございました。

第29地区（高洲第一中学校区）さん。

#### ○第29地区理事（高洲第一中学校区）

今までずっと言っていましたけど、いなげの浜とか幕張の浜、これは人工海岸で、何もお店がないんですよ。何かひとつでもあれば、「孫を連れて買いに一緒に行こうか」と、そういうこともできるんです。だけど、一回来た人は、何もない、食べ物もない、そうしたら人が集まらないですよ。旧の海岸線の近くには、ぽつんぽつんとかありませんけど、古いお店があったり、コンビニがあったりしていますけど、現在の海辺には何もないもので、人が来ても一回来たら二度と行かないと思う方がいるかもしれません。釣りをやる人など目的を持った方はまた何とか行くでしょうけど。少しはそういうところにも目を向けてもらいたいなというような気がしています。

#### ○美浜区長

ありがとうございました。

まさしく区民検討会の際にもそういったご意見がありまして、海辺でどう楽しめるか、楽しめるような海辺にしていってはどうかというようなご提案もありましたので、基本計画でも海辺を活かしてということにしておりますので、お知恵とお力を借りながら、何かできたらいいなとは思っております。

ほかに、もう一方。第33地区（磯辺第一中学校区）さんどうですか。

#### ○第33地区（磯辺第一中学校区）

さっきから話が出ているのですが、確かに、美浜区の財産として、いなげの浜、それから検見川の浜、幕張の浜、この3つは人工海浜でも日本の誇れるものだと思うのですが、先ほど第47地区（打瀬中学校区）さんがおっしゃったように、海岸というのは、とにかく、国、県、市が入り組んで、何かをしようと思っても非常にやりづらい。結局、許認可を取るまでに大変な苦労がかかる。

そういう点で、私、2年ほど前ですか、パスタを食べる会とかでお願いに上がったことがあって、ちょっと調べたことがあるんですが、そういう点では、3つの浜の中で一番やりやすいのはいなげの浜ではないかということを知っているんです。もし、そういうことで、いなげの浜が提案を一番出やすい、利用しやすいということであれば、そっちのほうの海岸から利用度を高めて、何か考えてみたらどうかというような提案をしてみたいと思います。

#### ○美浜区長

ありがとうございます。

そうですね。一度に3つ全部というのはなかなかハードルの高いところもあるかと思いますが、実現可能な、取り組みやすいところから少しずつ、一歩ずつでも進めていくというのも一つの提案だと思います。ありがとうございます。

#### ○第38地区理事（稲浜中学校区）

ただいまの第33地区（磯辺第一中学校区）さんの意見ではありますが、この私たちの地区では高齢者が多いんですよね。今、ゲートボールほどではないけど、グランドゴルフとかパークゴルフがすごくはやっているんですよ。我々、パークゴルフに行くには、若葉区とか、あと習志野市の茜浜まで足を延ばさないといけないんです。だんだん高齢者がふえて、そういう仲間がふえていますので、今、いなげの浜あたりでパークゴルフ、これはお金はかからないんですよ。何か所かにホールをつくってしまえば、木なんかはあったほうがおもしろくできるので、そういうこともひとつ考えていただければ助かると思います。よろしくお願いします。

### ○第 30 地区理事（幕張西中学校区）

パークゴルフ場は私のほうでも申請したことがあるんですよ。何という回答だったか、もう忘れちゃったけど。場所もある程度、マリスタジアムの近辺、緑は結構ありましたので、この辺にできるんじゃないかということで希望を出したんですよ。住民がコースづくりを手伝うから、自分たちで全部 100%はできないけど、手伝うから何とかしてくれという申請を出したことはあります。

### ○美浜区長

それでは、2 つ目のテーマとしてお願いしました資源の有効活用ですが、ホワイトボードのほうに担当が一生懸命書きました。

海での潮干狩り、海辺の管理者、国、県、市、許認可を取るのが大変である。行政間で協議もしてほしい。

公園友の会ということで、住民自から魅力ある公園づくり。そうしますとマナーも向上してくるといようなお話がありました。

海浜幕張公園、県に提案したけれども、そのままになっているというお話がありました。

それから、花見川サイクリングロードを名所にしたい。木の手入れを皆さんでやっていただけるといことで、よくしたい。ごみが散乱しているところをきれいにしたい。

海辺にお店などがあれば、遊びに行っても楽しいし、また来たいと思うかもしれない。

いなげの浜は利用しやすいのではないかと。

そして、高齢者のパークゴルフといようなお話もいただきました。

いずれにしても、やはり、地域の皆様方とともに、地域の皆様方が地域で今持っている資源をより魅力的に、自分たちがどう楽しめるか、自分たちがどうかかわれるかということを、区役所も皆様と一緒にこれから考えていきたいと思っておりますので、どうぞ、お知恵とお力を引き続きお貸しいただきますよう、よろしく願い申し上げます、ちょうど 8 時というお約束の時間になりましたので、一定の答えがないかもしれませんが、こういうことを通じて、区の基本計画として定めた将来像を実現できるように皆様方とともに頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願い申し上げます。

それでは、以上をもちまして、本日の対話会を終了させていただきたいと思っております。

最後に、本日、対話会に参加いただいております皆様へ、美浜区のほうから 2 点ほど事業紹介をさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願い申し上げます。

## ○地域振興課地域づくり支援室長

地域振興課地域づくり支援室より、ご報告をさせていただきます。

お手元に配布しております A4、1 枚の「平成 23 年度『魅力ある美浜区づくり』活動支援事業について」をご覧くださいと思います。

美浜区では、平成 23 年度事業といたしまして、新たに魅力ある美浜区づくり活動支援事業を実施しております。この事業は、地域課題の解決や地域の活性化など、区民の皆さんが主体的に取り組む活動に対しまして、活動資金などを支援するものでございます。今年度の取り組み状況についてご報告をさせていただきますと思います。

まず事業概要ですけれども、1 番目としまして目的を記載してございます。「魅力ある美浜区づくり」活動支援事業は、地域課題の解決や活性化に主体的に取り組むボランティアグループや市民活動団体、NPO、町内自治会などに対しまして活動資金などを支援することによりまして、区民が主体となって地域力を活かした魅力と活力のある美浜区を創ることを目的としてございます。

2 番目としましては、対象となる活動についてですが、地域課題の解決や地域の活性化など、区内で区民の皆さんが主体的に取り組む活動が対象となっております。

支援限度額につきましては、1 事業につきまして 15 万円でございます。15 万円以下の申請も、可能となっております。

募集方法・期間につきましては、今年度につきましては、「市政だより」6 月 1 日号美浜区版に掲載いたしました。その後、美浜区のホームページにも掲載をいたしました。募集期間としましては、ことしの 6 月 1 日から 6 月 30 日、1 カ月間とさせていただきます。

支援対象団体としましては、主に区内で活動するグループで、ボランティアグループ、市民活動団体、NPO、町内自治会など、1 年以上継続して活動している、または 1 年以上継続する活動が見込めるグループ、団体でございます。

審査につきましては、申請いただいた金額により、申請額 5 万円以下につきましては、事業計画など収支予算書等の書類を出していただくのですが、書類審査で決定いたします。申請額が 5 万円を超えた場合、事業計画などの書類審査とあわせまして、公開プレゼンテーションによる審査を行いました。

ちなみに、今年度の活動支援団体の申請件数は 13 件ございました。内訳としましては、分野別で分けしますと、高齢者対策に関しまして 5 件、防犯・防災対策につきまして 3 件、子育て支援に関しまして 2 件、魅力づくり 2 件、多文化共生 1 件という内訳になっております。補助額で分けしますと、5 万円以下が 6 件、5 万円を超え 10 万円以下が 1 件、10 万円を超え 15 万円までが 6 件ということで、計 13 件ということになっております。

一番下に「なお、美浜区ホームページにおいて、活動支援団体の活動状況等をお知

らせています」というふうにご覧いただけますが、来年度以降も実施していく予定ですので、現在の団体の活動状況等は、ホームページをご覧くださいながら参考にいただければと思っております。

以上でございます。

### ○地域振興課くらし安心室長

続きまして、くらし安心室から、多機能パトロールについて事業紹介をさせていただきます。プロジェクターをご覧ください。

本年4月から、美浜区地域振興課くらし安心室に多機能パトロール車を配置し、区域内の生活道路を中心に、防犯、道路安全、公園安全、ごみの不法投棄の抑止、児童等の安全確保など、多機能型の巡視を実施しています。問題を発見した場合、ごく簡単な応急処置を実施した上で、警察や所管事業所等へ通報・引き継ぎを行うことにより、事故や犯罪の未然防止、環境の保全等を目的としております。

次に実施体制ですが、青色回転灯を装着した公用車により、職員2名1組で、午前・午後それぞれ2時間程度、巡回を実施します。パトロール計画（区内10コース）に基づき、おおむね1カ月程度で区内全域を巡視することとしております。

次に業務内容ですが、青色回転灯を点灯した防犯パトロール、公園等における禁止・制限行為の注意指導、遊具等の簡易点検、プロジェクターをご覧ください、公園のベンチを点検しているところがございます。パトロール中に発見した不法投棄物の対応。またプロジェクターをご覧ください。児童の下校時の見守りをしているところがございます。

次に現在の取り組みですが、警察からの不審者情報があった場合には、防犯パトロールを実施し、対応しております。特に年末は事件発生が予想されますので、年末特別警戒といたしまして、今月12日から、午後、小中学校の児童下校時の見守りを行っております。

最後に今後の方針ですが、現在、パトロール計画に基づき実施しておりますが、地域の防犯パトロール隊との連携、保護者や地域住民による学校セーフティウォッチャーの見守り活動との連携を検討し、今後は地域の皆様とともに防犯活動を行っていきたいと考えております。

以上でございます。

### ○美浜区長

本日は、大変長時間にわたりまして、誠にありがとうございました。「美浜区基本計画」に掲げた区の将来像を目指して、よりよい美浜区となっていきますようご期待申し上げますとともに、私ども区役所といたしましても、これからも地域の皆様と力を

合わせて、精いっぱい努めてまいり所存でございますので、今後とも引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げまして、本日の対話会を終了させていただきたいと存じます。ありがとうございました。